

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 令和7年10月8日（水）公開授業Ⅱ

児 童 12名

指導者 杉 本 智 子

1 単元について

(1) 単元名 「八幡平市の魅力伝えよう」

(2) 教科等横断的単元構想図【総合的な学習の時間＋社会科】

〈児童の実態と教科横断するよさ〉

平館地域のために自分たちができることを考え、伝える活動をしてきたが、地域を守ろうとする人たちの思いや努力への意識は十分ではない。また、学習したことを生活の中に生かそうとする思いはあるが、実際に生かした活動の経験は多くない。「問題解決力」と「困難を乗り越える力」を育成するために、総合的な学習の時間と社会科をつなぐ。

〈社会科〉

地方公共団体の政治の働きを理解し、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて関わり方を考え、よりよい社会にするために学習したことを社会生活に生かそうとする。

「市役所の仕事は、私たちの生活と結び付いているんだな。私たちも、地域がよりよくなるように考えていきたいな。」

「地方公共団体の政治」と「私たちの暮らし」を結びつけて考えられるように、「願いは何か」「誰がどのような働きをしているのか」を問いかけていく。

〈総合的な学習の時間〉

八幡平市の人口減少などの課題に対応するために、「観光」を視点としてその成果や課題を知り、八幡平市のよさ（食・温泉・観光スポット・レジャー等）に着目して課題解決に向けて調べていく。

「スキー場や温泉に観光客が来ている。」「ドラゴン・アイもすごく有名。」「でも、どうしてももっと来てくれるかな。」「函館市は、どのようにしているかな。」

八幡平市の活性化について「観光」を視点にし、その成果と課題を知ること導入にする。話し合いから八幡平市のよさに着目し、自分たちができることは何か、何を調べていけばよいか見通しがもてるようにする。

〈総合的な学習の時間〉

八幡平市や修学旅行先の函館市の観光について調べたことを生かしながら、地域の活性化のために自分たちができることを考える。また、観光に携わる方がそれぞれの持ち場で、課題と向き合いながら努力していることに気付く。

「函館市では～していた。」「八幡平市でも～ができるといいな。」「地域の歴史や特色、特産物を生かして観光に役立てたい。」「〇〇を生かせるように工夫しよう。」「みんな努力しているな。」

修学旅行先で調べたことと八幡平市のよさをつなげられるように問いかけ、八幡平市の活性化のために自分たちができることは何かを考えられるようにする。また、観光に携わる方が、協力したり、工夫したりしていることに触れ、その努力に気付かせる。

〈総合的な学習の時間〉

これまでの学習（地熱探検隊含む）から、八幡平市の活性化（自分たちが願う八幡平市）のために自分たちができることを発信する。（リーフレット、パンフレット、ポスター等）

「八幡平市が～になったらいいな。」「自分たちの考えを伝えたいな。」「努力している人たちがいる。私も困難に負けずに努力していこう。」

考えたことを自分が選んだ方法でまとめさせ、それを周りの人（保護者、地域、観光協会、5年生）に伝えようとする態度を育てる。

○自己（人間）の生き方にかかわる目指す児童の姿（育みたい資質・能力が表れた姿）

〈総合的な学習の時間〉

地域の課題を意識し、学んだことを生かして自分たちが八幡平市のためにできることを考え行動しようとしたり、それぞれの場所で課題を克服していこうと努力する人々の存在に気付き、自分も何らかの知恵や工夫を働かせて根気強く困難に立ち向かっていこうとしたりする児童。

2 単元の評価規準

教科	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習に取り組む態度
総合的な学習の時間	①地域の特色を生かした食や宿、観光等があり、それを生かして地域を活性化していることと、そこに努力している人たちがいることを理解している。 ②調べたり考えたりしたことを、相手意識や目的意識を明確にしながらかつてまとめる方法が分かっている。 ③課題解決に取り組んだことで、まちづくりに対する理解が深まったことに気付いている。	①地域の活性化について、現状と理想との隔たりから課題をつくり、解決に向けて自分ができていることを考えている。 ②地域の活性化に向けて必要な情報を選択して、収集している。 ③収集した情報を取捨選択したり、比較したり、関連付けたりしながら、解決に向けて考えている。 ④伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。	①活動を通して、自分と地域や地域の活性化に取り組む人々との関わりを見直そうとしている。 ②地域の活性化に向けた取組を考えたり実行したりする中で得た知識や考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③課題解決に向けた取組状況を振り返り、粘り強く取り組もうとしている。
社会科	①地方公共団体の政治の働きについて調べ、必要な情報を集め読み取り、地方公共団体の政治の働きについて理解している。 ②地方公共団体の政治が、地域の課題を解決し、活性化させる働きがあることを理解している。	①地方公共団体の政策の内容や過程、予算などの関わりに着目して問いを見だし、地方公共団体の働きについて考え、表現している。 ②政治と地域活性化の取組を関連づけ、地方公共団体の政治の働きや住民との関係を考え、表現している。	①地方公共団体の政治の働きについて、計画を立てたり、振り返ったりして、主体的に問題解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、よりよい社会生活に生かそうとしたり、多角的に考えようとしていたりしている。

3 単元計画 (47 時間)

教科	小単元名 (時数)	ねらい・学習活動 (時数)	考える活動の手立て	知	思	態
社会科	1 わたしたちの暮らしを支える政治 (7)	・地方公共団体の政治は人々の暮らしと深く結びついており、少子化・高齢化や人口減少などの一人では解決できない問題は、地方公共団体の仕組みを生かしながら社会全体で取り組むことが必要であることを理解する。(7)	ア 考えを引き出す	①	①	①
	2 雪とともに生きる暮らしを支える政治 (4)	・地域の様子や住民たちの願いに着目し、願いを叶え地域の課題を解決するための政治の働きについて調べ、計画的な除排雪で住民の暮らしを守る市役所の役割を捉える。(2)	ア 考えを引き出す	②		②
		・「さっぽろ雪まつり」について調べ、市役所の果たす役割をつかみ、住民は意見を出したり、選挙で投票したりして政治に関わっていることを捉える。(2)	イ 考えを整理・分析する		②	②
総合的な学習の時間	3 観光を通して考える八幡平市の活性化 (3)	・観光協会の方から八幡平市の観光について成果と課題を伺い、地域の活性化に向き合う課題を捉える。(1)	ア 考えを引き出す エ 考えをつなげる	①		①
		・学習課題について取り組むために、八幡平市ならではのよさについて調べ、まとめる。(1)	ア 考えを引き出す		①	
		・観光が地域活性化につながることを理解し、これからの調べ学習に見通しをもつ。(1)	ア 考えを引き出す	②		①
	4 課題解決に向けての情報の収集 (8)	・八幡平市と函館の観光について調べたり、伺ったりしながら必要な情報を集める。(8)	イ 考えを整理・分析する		②	
		・修学旅行先で実際に見たり、聞いたり、体験したりしながら函館の観光の情報を収集する。(行事 11…時数外)	イ 考えを整理・分析する		③	②
	5 整理・分析と表現・まとめ(25)	・観光についての学習を生かしながら、八幡平市の観光を活性化するために何ができるか自分たちの考えをもつ。(8) ・地熱探検隊での見学を通して、さらに考えを広げたり深めたりする。(6) ・分かったことを整理して、八幡平市の活性化について自分たちができていることを発信する。(10) 本時 (15/24) ・単元を振り返り、つけた力を確かめる。(1)	イ 考えを整理・分析する ウ 考えをまとめる	③	④	③
			ウ 考えをまとめる エ 考えをつなげる	③		③

4 本時の指導 37/47 時間

(1) 本時のねらい

八幡平市の魅力を伝えるために、「観光」を視点にして、自分たちに何ができるか構想したものを交流し合い、さらに八幡平市の活性化につなげていこうとする。

(2) 展開

段階	学習活動と子どもの反応	形態	指導上の留意点と教師の働きかけ 【考える活動の手立て】
導入 3分	1 これまでの学習を想起する。 ・八幡平市は、僕にとってよいところだけど、人口減少が起きて心配だから、八幡平市の魅力を伝えていけたらいいな。 ・八幡平市に来る観光客を増やして、お金を使ってもらい、経済を安定させ、さらに街を発展させることができればよいと思う。 2 本時の課題を確認する。 観光で八幡平市を活性化するために、お互いの考えを交流しよう。	全	・つなぐシートの中から、自分たちの考えた観光で地域をどのようにしたいと願っているのかを紹介する。 ・観光によって八幡平市を活性化できるのではないかと考えたことを交流して、さらによいものにするためにお互いの考えのよい点やさらによくするための意見を交流することを確認する。
展開 35分	3 話し合いの見通しをもつ。 ○観光の活性化のための視点を確かめる。 4 考えを交流する。 ○観光を活性化するためのアイデアを交流する。 ・各グループ毎に3分程度のスライドで構想を説明する。(3グループ) ・質問・意見・感想を伝え合い、お互いの考えを見直す。 5 立場を変えて、自分たちの構想を見直す。 ・八幡平市の温泉は、色も効能も違っている。そのことを知れば、楽しいと思う。私の好きな○○も一緒にアピールして、○○のよさも伝えたい。 ・自分は自然が好きだから花を見に来たい。だけど、あまり植物に興味のない人も楽しめるように、パンフレットを作りたい。○○を取り入れたいなと思います。	全 グ 全	・観光について学んだことを生かしているか、すでにあるものとの違いは何か、自分たちでできるのかなど、話し合いの視点を掲示しておく。 【手立て イ 考えを整理・分析する】 グループの構想をスライド(3分程度)を使って説明し、全体で交流することで、自分たちの考えを見直す。 ・スライドの内容は、課題・願い、解決策、具体物や効果・よさ、とする。 ・説明の際は、考えの根拠が明らかになるようにする。 ・自分ならその観光に来たいか等を問い、立場を変えて構想を見直す。さらに自分のこととして捉え、工夫していきたいという気持ちを高めたい。
終末 7分	6 各グループで振り返る。 (地域のために自分たちができることを考えて取り組んでいきたい。) 7 本時の学習を個人で振り返る。 ・八幡平市のよさを知ってもらうために、～はよいと思うけど、もっと・・・して、少しでもよいところを知ってもらいたい。 ・○○がよいと思ったけど、自分だったら観光に来るかと考えたら、～が足りないと思った。もっと自分から見た好きなところを紹介して、よりよいものにしていきたい。	全 個 全	・全体交流を通して、他の発表や友達の意見から考えたこと、立場を変えて見直したことをグループ交流し、今後の意欲を高める。 ・今日の交流を通して、気付いたことや考えたこと、これから取り組んでいきたいことを振り返らせる。 ・各グループから1人ずつ振り返りを発表する。